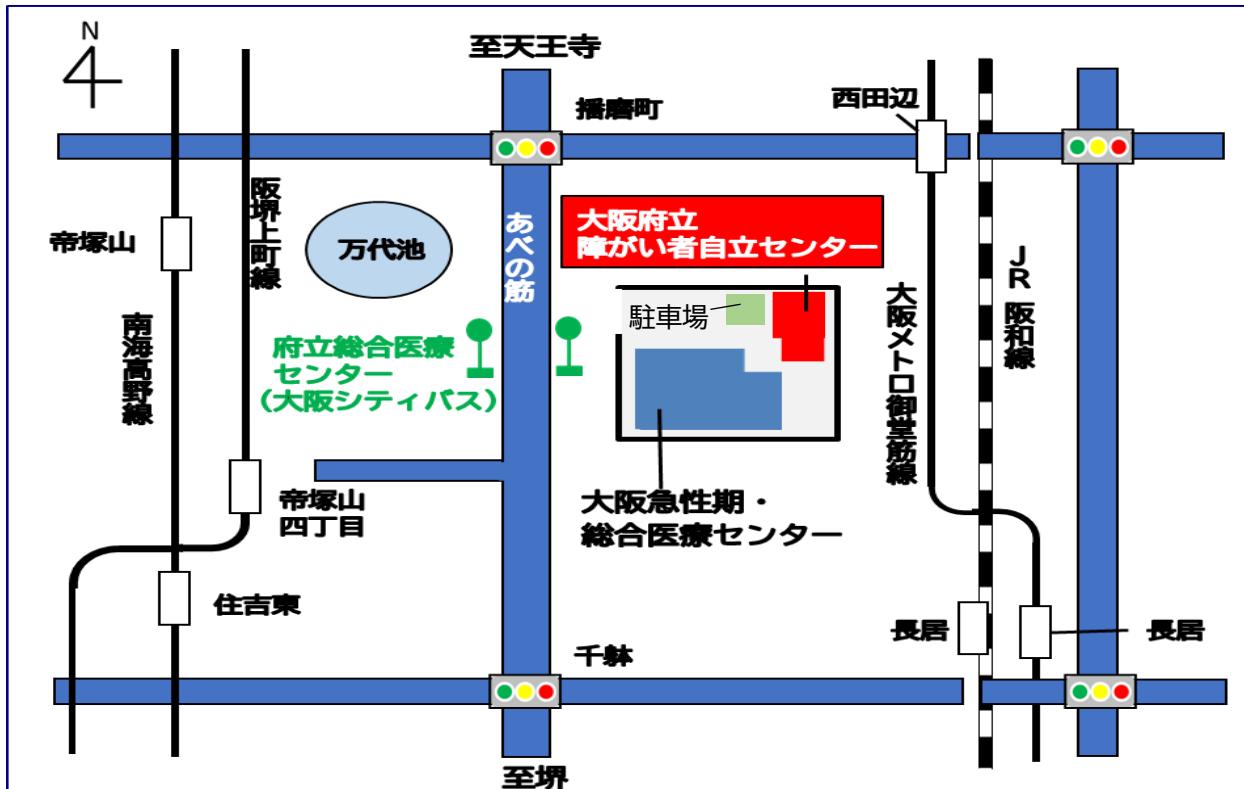


## ご案内



### 最寄り駅

- ① 大阪シティバス「府立総合医療センター」下車すぐ  
天王寺駅前「あべの橋」バス停から  
62、67系統「住吉車庫」行き、63系統「浅香」行き、64系統「おりおの橋」行き
- ② 阪堺上町線「帝塚山四丁目」下車 約0.7km 徒歩 約10分
- ③ 南海高野線「帝塚山」下車 約1.0km 徒歩 約15分
- ④ JR 阪和線、大阪メトロ御堂筋線「長居」下車 約1.5km 徒歩 約18分

## 施設の概要

設置主体：大阪府 運営主体：大阪府 開設：平成19年4月1日  
土地面積：5,475.41㎡ 延床面積：4,408.82㎡

〒558-0001 大阪市住吉区大領3丁目2番36号  
(障がい者医療・リハビリテーションセンター内)

電話：06-6692-2971 FAX：06-6692-2974

【ホームページ】

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o090140/shogaishajiritsu/jiritsu01/index.html>



# 自分らしい生活をめざして... 施設のご案内



## 障がい者自立センターの理念

大阪府立障がい者自立センターは、大阪急性期・総合医療センターの障がい者医療・リハビリテーション医療部門と大阪府障がい者自立相談支援センターとともに障がい者医療・リハビリテーションセンターの一翼を担い、『医療』部門では治療当初からの医療リハビリテーションを、そして『福祉』部門では地域生活への移行に向けた生活リハビリテーションを提供する中で、障がいのある方の身体機能や社会生活力を高めるための支援を行う訓練施設です。

また、当センターは、脳血管障がいや脳性まひの方をはじめ、高次脳機能障がいや脊髄損傷の方などに対する支援プログラムを実施し、利用者みなさんが円滑に地域生活へ移行できるよう支援を行います。

利用者お一人おひとりの個性と自立生活に向けた可能性を大切にしながら、良好な訓練生活の環境整備に努め、地域での豊かな社会生活の実現に向けて、利用者の立場に立ったサービスを提供します。

# 大阪府立障がい者自立センター

## 施設利用の相談・申込

### <申込の流れ>

- ①施設利用の相談  
(お気軽にお問合せください)
- ②施設の見学(ご希望の場合)
- ③障がい福祉サービスの受給申請  
(本人・家族→市区町村)
- ④入所面接日の連絡  
(当センター→本人・家族)

## 利用前面接

### <面接の内容>

- ①医師による面接
- ②ご本人の生活状況、訓練目標等の聞きとり
- ③身体機能、認知面スクリーニング、ADL評価

## 判定会議

## 利用開始

### <利用契約>

- ①重要事項の説明、施設利用契約
- ②施設案内、オリエンテーション

### <オリエンテーションプログラム>

- ①訓練プログラム体験
- ②身体機能・認知面の評価
- ③日常生活動作能力評価
- ④社会生活力評価

### <利用開始後、個別支援計画の作成>

- ①個別支援計画の説明
- ②本プログラムの決定

## 《利用対象者/基本的な契約期間》

### 日中活動支援

#### 自立訓練(機能訓練)

肢体障がい等の方  
【障がいの原因】脳血管疾患、頭部外傷、  
脊髄損傷、脳性まひ等

※定員：70名 基本的な契約期間：12か月

#### 自立訓練(生活訓練)

高次脳機能障がいの診断を受けられた方  
【障がいの原因】脳血管疾患、頭部外傷等

※定員：20名 基本的な契約期間：12か月

### 夜間支援

#### 施設入所支援

施設に入所して、上記の自立訓練を受ける  
必要がある方

※定員 80名

## 《利用基準》

- 訓練に対する意欲をお持ちの方
- 当センターにおける機能訓練、生活訓練のプログラムで移動等の日常生活動作や生活能力(外出、健康、安全・危機管理が自分でできる等)の改善が見込まれ、かつ、集団生活に適応できる方

## <1日の流れ>

### 平日の日課

6:30	起床
7:30~8:30	朝食
9:30	朝の会
10:00~10:50	1時間目プログラム
11:00~11:50	2時間目プログラム
12:00~13:00	昼食
13:10~14:00	3時間目プログラム
14:10~15:00	4時間目プログラム
15:10~16:00	5時間目プログラム
18:00~19:00	夕食
22:00	消灯

※入浴日：月、水、金  
(祝日は、前日または翌日に振替)

※休日は、外泊や余暇活動などに活用していただきます。

## 支援プログラム

## 地域移行支援プログラム

### <共通プログラム>

- ・認知訓練
- ・歩行・車いす走行訓練
- ・身体機能・身辺動作訓練
- ・職能評価
- ・健康管理
- ・スポーツ
- ・グループワーク
- ・パソコンの基礎
- ・メモリーノート など…

### <地域移行準備>

- ・生活実習(ADL室を活用)
- ・家屋調査
- ・外出訓練
- ・退所後のサービス利用調整  
(作業所、グループホーム等での体験実習)
- ・社会参加活動の促進 など…

退所  
(地域生活)

### <脳血管疾患等>

主に、脳血管疾患による中途障がいのある方が、日常生活動作や家事動作などを確立し、地域生活をめざします。

### <高次脳機能障がい>

高次脳機能障がいのある方が、生活管理・障がいの認識・代償手段の獲得などをめざします。

### <脊髄損傷等>

脊髄損傷による障がいのある方が、具体的な地域生活移行に向けて、日常生活動作能力の向上をめざします。

### <脳性まひ等>

支援学校卒業後間もない脳性まひ等の障がいのある方が、社会経験の拡大に必要な基本的生活能力の向上をめざします。

四人部屋



食堂



浴室



講堂



理学療法室



作業療法室



ADL室(生活実習)